



# さつきが丘 10月号 第352号

## さつきっ子分析から・・・

校長 仲川 由佳理

先日は、多くの保護者の皆様の授業参観、懇談会へのご参加、本当にありがとうございました。

さて、学校は、着々と運動会モードになってきました。9月の朝会では、「いっしょにつくろう 運動会」

という話をしました。『やらせられる運動会ではなく、自分たちで運動会をつくるのだ!』と。児童一人ひとりが主人公であることを伝え、演技・徒競走、めあてを意識して自分たちらしさを出していくことを伝えました。最後は「運動会、がんばるぞ!」の掛け声で、朝会を終えました。その後、各学年の運動会実行委員の児童を校長室に招き、実行委員は何をしていくのかを問うと、

「先生と連絡を取り合いながらみんなに内容を伝え、みんなで完成させていく」と、1年生から6年生の実行委員が、それぞれに言葉を発していました。

今月、この話題をここに記したのは、この夏の校内研修で、さつきっ子の強み・弱みを全職員で分析したことにはじまります。まじめで素直で、優しい子どもたち…。子どもの表情を思い浮かべながら、みんなで話し合いながら話をしました。一方で、言われたことはできる、指示を待っているなど、受動的な部分が見られることや、自己決定ができたり自己を振り返ったりすることのできる子どもの育成が望まれることも確認しました。同時に、子どもたちに接する大人も、子どもの意思を確認したり考えたりする場面を作っているか。いつも一方的に指示を出していないかと、日常生活を振り返ることもしました。どんな学習の見通しで、どんな力を身に付けていく勉強なのかを子どもたちと共有しながら臨み、自己を振り返り次の学びに結び付けていくことのできる子どもの育成を目指そうと、共通確認しました。

保護者の皆様、地域の皆様、今後も成長し続けるさつきっ子を、共に見守っていただければ幸いです。



9月の朝会

いっしょに  
つくろう 運動会